

市教委ニュース

第245号(令和7年6月10日発行)

『押花絵画』の寄贈

この度、交野市在住の押花アート作家、湯田 和園さんより、交野市立交野みらい学園に押花絵画を寄贈いただきました。

令和7年6月2日(月)に、交野みらい学園にて山本市長が感謝状を贈呈いたしました。

寄贈された作品は今後、交野みらい学園の校舎内にて展示されます。



(左：湯田 和園さん 右：交野みらい学園竹田校長)



(押花絵画「春色に染まる」)

湯田さんは、本当の押し花をあたかも絵画のように制作される「押花アート作家」です。湯田さんの作品は国内にとどまらず、世界各国で高く評価され、世界最古300年以上の歴史を持つ、フランスの国際公募美術展、通称「ル・サロン」では、幾度も入賞を果たされ、フランス芸術家協会の永久会員になられています。

今回、交野みらい学園に寄贈いただいた押花絵画は、桜を描かれた「春色に染まる」という題名の作品です。この作品は、2009年の第220回ル・サロン展にて、銀賞を受賞された作品で、湯田さんを代表する作品の一つです。本物の桜の花びらと樹皮に再び命を吹き込み、春霞の中、花びらが舞う様を幻想的に表現された作品です。